



発行所：特定非営利活動法人ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話/FAX：03-3945-2415

E-メール：info@v-c-f.org ホームページ：http://www.v-c-f.org/

# ベトナム子ども基金通信

**No.55**  
**2012.3.3**



幼稚園の教室で ベトナムでは子どもが大人に敬意を示すときに腕を組みます (2011.11 ナムディン省タンタイン村)

1970年サイゴン。私が共に暮らしていたホームレスの子どもたちにとって、自分の将来に希望を持つことは難しく、兵隊になるとか、シクロの運転手になるなどというのが普通でした。

チョーは13歳、街路での新聞売りで、絶対平和主義の「椰子(やし)聖人」を尊敬していました。私が近所のコーヒー屋で本を読んでいると、時々彼がやって来て同じテーブルに着きます。私はすかさず、今日は絶対に払わないよ、と通告するのですが、彼は私の言葉を気にかける様子もなく、堂々とアイスマルク

を注文します。彼を疑っていた私は、自分を恥ずかしく思わないわけにはいきません。私が反省している間に、彼はミルクを飲み終わり、私に笑いかけて行ってしまいます。そんなある日の短い対話です。

「18歳(徴兵年齢)になったらどうする? 椰子聖人のところへ行くの?」

「行かない。兵隊に行く」

「兵隊に行きたい?」

「いや。できたら、大型自動車の修理工になる。鉄砲を持って前線に行かなくて済むから」

「5年後戦争は終わってるよ」  
「終わらないよ。絶対に終わらないもの…」

1975年、ベトナム戦争は終わりましたが、チョーはぎりぎり徴兵を免れたのでしょうか。

こんどう のぼる  
(近藤 昇)

(編集者注) 椰子聖人：グエン・タン・ナム。1964年、世界中の宗教を混交させて「椰子教(ダオユア)」を設立。世界平和とベトナムの統一を訴え、ココナツだけを食べて生きていたという。ベトナム戦争時に徴兵忌避の若者が、寺院のあるミトーのメコン川にあるフーン島に逃れた。反体制運動とされて1990年、政府に解散させられた。寺院は現存、観光地となっている。

# ベトナムスタディーツアーに参加して

毎年スタディーツアーのお知らせを見ても、出かける気持ちにはなりません。足長おじさんで居たいと思っていました。支援先と会って名乗り出るとは格好悪いと言うか、木っ端恥ずかしいと言うか、里親という言葉の響きにも馴染めずに居ました。会って、向こうの方々に余分な負担を負わせてしまうのではないかという、今思えば謙遜めいて、いやらしい感じを抱いていました。

通信を読んでいた夏、旅行好きな次女に何気なく「ベトナムツアーがあるよ。」と言うと、「行きたい!」と即答され、娘にとって良いかなと決めました。後は黒羽さんに負んぶに抱っこのまま、準備



幕内さん親娘と郷古のコンさん一家(ロンア省)

が進みました。

ベトナムに着いた翌日に里子に会いました。その日は緊張からか、神経性の下痢を起こしてしまいました。会って、びっくり。「そうなのか、私は里親なのか。」

と実感しました。お母様が娘の勉強机の置かれた部屋に案内してくれ、ノートを何冊も見せてくださり、「こんなにも勉強しています。」と目で訴えます。小さな里子の手を握り、父母兄弟と握手したとき、一瞬にして親類縁者と成ったような感慨を覚えていました。

ホーチミン、ハノイで里子の方、里子卒業の方々の晴れ晴れしたお姿を拝見したとき、基金の力を感じました。役立っているんだなあ。凄いなあと感じました。同時に、過去に里子であった二人の方の現在を知りたいと思いました。

ベトナム最後の夜、空港の喫茶店で車座になり話しました。囲炉裏の火を中心にして語り合う雰囲気でした。シュン君の28年間の略歴を聞き、

彼のベトナム子供基金に掛ける思いを知り、こんな風に基金を支える人達が沢山ベトナムに生きている喜びを感じました。シュン君と繋がっていたいと思いました。黒羽さんのベトナムに寄せる想いの強さも感じました。初日に会った平山恵理子さんの地球規模の活動にも驚かされました。これからの人生、大きく地球規模で考え、生きようと思わされるツアーでした。

娘にも大きな遺産を残したようです。関係の皆様、ありがとうございました。

まくうちひであき  
(幕内 英明)  
里親基金会員



青葉奨学スタッフのシュン氏と

## 里子訪問記

年末年始、ベトナムへ旅行しました。ベトナムは1年8カ月ぶり、年末年始をベトナムで過ごすのは13年ぶりです。

### ハノイにて

私は同業種が通り別に集まっている旧市街の町並みが大好きです。そこに暮らす人々の生活を垣間見ながら道を散策するのがハノイでの楽しみのひとつです。旧市街は迷路のような道なので、いつも地図を片手に方向感覚を失わないように歩きます。この日は

12月31日ということもあるのか旧市街の道にもバイクがたくさん走り、車の数も多く、のんびり散策するというより、道ひとつ渡るにも神経を使わなくてはなりません。また、古い町並みのところどころに海外ブランドのショップができていて、少しずつこの町並みも変化しているのだと思いました。ホアンキエム湖の近くにステージが作られ、たくさんの人たちが集まっていました。ここと、市劇場(オペラハウス)の前で



ベトナムブランドのバッグのお店、イパニマ

カウントダウンイベントが行われるそうです。深夜になっても人とバイクの流れは途切れることはありませんでした。

次の日、通訳のズンさんと、里子のクエちゃんがお母さんとバイクで私が泊まっているホテルまで来てくれました。お母さんの案内の元、ズンさんのバイクでクエちゃんのおうちへお邪魔しました。

クエちゃんは現在高校2年生。奨学金の支援をして5年目になりますが、会うのは今回が初めてです。履歴票の写真のクエちゃんは証明写真のような写りで、髪を後ろに結わえた真面目そうな学生という感じでしたが、実物のクエちゃんは、髪を下ろしたパーカ姿で、今時の日本の高校生とほとんど変わらない感じでした。

クエちゃんは猫を飼っていて猫が大好きとのことだったので、おみやげに猫の写真のカレンダーと、日本のお菓子（コアラのマーチとビスコ）を持って行きました。猫の写真を見ても1枚1枚見て喜び、ひとつひとつ違うコアラの姿が描かれているコアラのマーチを見て「すごくかわいい！」と言っていました。好きな日本のドラマは「花君」（「花ざかりの君たちへ〜イケメンパラダイス」のこと）「花より男子」、好きな歌手は韓国のBIGBANG、好きな作家はよしもとばなな、だそうです。このへんも日本の高校生と変わ



里子のクエちゃんと

らない感じですね。

クエちゃんは「大学では経済の勉強をしたい。まずハノイの大学へ行って、奨学金が得られればオーストラリアに留学したい」とのこと。クエちゃんの部屋を見せてもらいましたが、壁に付箋でたくさん英単語が貼ってあって、英語の勉強を頑張っている様子でした。「以前地域センターで日本語を少し勉強したけれど、今は英語を一生懸命勉強しているので日本語はほとんど忘れてしまった。大学に入ったらまた日本語も勉強したい」そうなので、楽しみに待ちたいと思います。

お昼ごはんはブンチャー（つくね入りつけ麺）をごちそうになり、記念撮影をし、クエちゃんの家を後にしました。



ブンチャー(つけ麺)

### ホーチミンにて

東日本大震災後の節電中の夜の東京でベトナムを思い出したのは、その薄暗さから。しかし今のホーチミンは、西暦のニューイヤー、旧暦のお正月前ということで街がライトアップされ、光の洪水のようでした。ドンコイ通り（街の中心地）にはブランドショップが立ち並び、新たな高層ビルも建設中でした。一時期ベトナムには、街の至るところにインターネットカフェがありましたが、今回の旅ではインターネットカフェの看板を見ることはほとんどありませんでした。その替わりアッ



アップルの販売店

プル社の販売店や代理店をよく目にしました。今や自分の家にパーソナルコンピュータを持つ人が増えたのかもしれませんが。

最初の里子のダンちゃんは、高校卒業後シンガポールの大学に留学し、そのままシンガポールで働いていました。一昨年私はシンガポールに旅行する機会があったので、ダンちゃんに会えないかメールを送ったところ、ダンちゃんから1年前にベトナムに戻ったと返事が来ました。今回8年ぶりにダンちゃんとホーチミンで再会することができました。

ダンちゃんは今26歳で、ホーチミンにある化粧品関係の会社で働いています。仕事の後バイクで私の滞在するゲストハウスに迎えに来てくれて、食事に連れて行ってくれました。そこは一軒家のオシャレなカフェで、ダンちゃんはおまかせの家庭料理コースをごちそうしてくれました。ダンちゃんはよくこのお店に来るそうで、昼間はランチ、午後はカフェタイムになるとのこと。また、ブラッド・ピットとアンジェリーナ・ジョリー夫妻が来たことがあるお店でもあるとか。そんなお店が、観光客がよく通るような中心街ではなく、普通のベトナム人が生活するエリアにあることにびっくりしました。

ダンちゃんは、今でも元の家に家族みんなで住んでいて元気であること、真ん中の妹も社会人になり、一番下の妹は、大学で日本語を勉強していると話してくれました。途中から日本語を勉強しているという妹のトゥンちゃんも加わり、英語、日本語、ベトナム語のチャンポンで会話しました。ダンちゃんにはおみやげにキティちゃんのカレンダーと日本のお菓子「きのこの山」と「たけのこの里」を持って行ったのですが、ダンちゃんよりトゥンちゃんのほうが喜んでいました。

ダンちゃんに会うのは8年ぶりといっても、その間写真を送ってくれていたのでも久しぶりに会っても大人っぽくなったな、くらいでしたが、妹のトゥンちゃんは、お母さんのひざに乗っていた小さな女の子という記憶しかなかったの、19歳の大学生といわれて、その時の経つ早さに驚くばかりでした。トゥンちゃん



1996年ダンちゃん家族と

は日本の文化が大好きで、好きな日本のドラマは「花君」、好きな作家はよしもとばなな（クエちゃんと同じですね。どちらも10代の女の子を惹きつける何かがあるのでしょう）、いつかよしもとばななの小説をベトナム語に翻訳するのが夢、だそうです。一方、ダンちゃんは「なんといっても村上春樹が大好き。作品は全部読んでいます。一番好きなのは『ノルウェイの森』。『1Q84』はまだ読めて



妹のトゥンちゃん、お母さん、おばあさん

いない、早く読みたい」とのこと。ダンちゃんが高校2年生のとき、私が村上春樹の英語版「世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド」をおみやげに持って行きました。ダンちゃんの村上春樹好きは、そこから始まったのかもしれません。村上春樹は今でも私の好きな作家ですが、私もダンちゃんくらいの年齢のときは「私の頭の中にあることすべてが村上春樹の小説に書いてある」というくらい思い入れていました。そんなことを思い出し、なんか懐かしくなりました。

食事の後、このすぐそばにダンちゃんの家があるからと、おうちにも寄らせてもらいました。そこで久しぶりにお母さんとおばあさんにも会うことができました。真ん中の妹さんには会えなかったけれど、家族みんな仲がいい様子が伝わってきて、心が温かくなる思いでした。

私が初めてベトナムへ行ったのは1995年。縁あってベトナム子ども基金の里親基金会員と運営委員になり17年。その間何度もベトナムへ旅行し、ベトナムの変化も目にし



お母さん、妹のトゥンちゃんと

てきました。里子は今のクエちゃんです。3人目（2人目の里子のリンちゃんは現在日本に留学中）です。里子のダンちゃん、リンちゃん、クエちゃんとの出会いは、私にとってベトナムという国を、料理がおいしくてかわいい雑貨にあふれている国というだけではない、特別な場所にしてくれました。日本とベトナムと遠く離れていても、海の向こうに思いをはせる人がいる、というのは私の人生を確実に豊かにしてくれています。これからも彼女たちの成長を見守っていければ、これに替わる喜びはありません。

まずは、クエちゃんとダンちゃんがやっているというFacebookを私も使いこなせるよう頑張って勉強します。



ダンちゃん

いまい ゆきえ  
(今井 幸恵)  
事務局運営委員



# カンボジア 歯科衛生活動

2008年よりカンボジア第2の都市、バタンバン近郊にて、歯科検診と歯磨き指導を行っています。カンボジアは1990年代前半まで、内戦と政治的混乱が続き、また現在も当時埋められた地雷の被害が続いている国です。国境付近に未だ残る地雷は、人々の手足や目を奪い、生きていくことや仕事に就くことを困難にしています。そして犠牲となるのは、農業を手伝っている子どもたちに多いのです。子どもたちは、親を助け生活を支えるために働きます。当然学校に行けず、字を読むこともままならない子がたくさんいます。私たちの活動は、この悪魔の兵器—地雷を取り除



カンボジア最大の湖、トンレサップ湖に浮かぶ船。これらの船の上で水上生活している人々がたくさんいます。一生、土地を踏まずに、船の上で暮らす人もいます。

き、子どもたちが元気に学校へ通えるよう支援することです。

そして次に必要なことは、健康を守ること。まだ多くの地雷が残っていますが、普段の生活は、内戦後落ち着きを取り戻し、外国から多くのものが運ばれてきます。食べ物もそのひとつ。特に甘い飲料水やお菓子など、子どもが好んで食べるものが、学校前で売られています。仕事が見つかり、生活が改善されると親たちは現金収入を得ます。仕事や家事で忙しい親は、子

どもに金銭を渡し、子どもはそれで朝ごはん替わりのおやつを買うのです。歯磨きや手洗いの習慣がなく、甘いものだけを食べ続けた結果は、虫歯罹患（りかん）率90%…これだけ虫歯が多いと、体全体に害を及ぼします。

虫歯が多い＝口の中に細菌が多い。細菌が多いと、鼻や口を介して侵入する他の細菌に抵抗することが難しくなり、病気に感染しやすくなります。虫歯で溶けた歯は容易に折れて、口の中の粘膜を傷つけ、その傷から感染が始まるのです。破傷風などの予防接種がない村々では、感染症で亡くなる子どもが後を絶ちません。単なる虫歯と考えがちですが、虫歯は全身に大きな影響を及ぼすのです。また、都市以外の地方では病院もなく、歯科にかかって治療を受けることもできません。つまり、一番必要なことは、病気にかかりにくい体を作ることなのです。

しかし、学校教育も制度が守られていない地方で、できることは限られています。まず、歯がどんな働きをするのかを教えます。そして丈夫な体を作るためにかかせない食事と、その後の歯磨きについて説明します。指導には人形劇を使い、ゆっくり簡単な言葉で伝えていきます。どの子



子どもたちが歯磨きの説明や人形劇に興味深く聞いています

も興味を持って聞いています。この子どもたちが大きくなり、親になったとき、自分の子どもの歯を自分たちで守っていけるように…そう願って



健診と一緒に簡単な治療も行います

います。

目標は、歯磨きを習慣づけることです。習慣にすることは、長い年月がかかり、今見ている子どもたちの世代では不可能かもしれません。歯が大切な器官であること、歯磨きが病気の予防になること、健康な体が未来を作っていくこと。これらを子どもたちが理解するまで、繰り返し伝えるのです。教育が最も大切な支援です。自分の体を守ることができれば、未来を夢見することもできます。

地方の中学進学率は50%、虫歯をはじめ、口腔（こうくう）内の病気罹患率は80-90%。

日本では目にしない数字が並びます。私たちが物資や資金を与えるだけでは解決には



小学校では、机の上に歯科検診の器材を置き、椅子に横になってもらい、口の中を見ます。

なりません。支援に頼らず、自立していく力が必要です。地雷撤去と農業支援、そして教育と健康管理は村に欠かせないものとなっています。これらが機能することで、村人たちは自活する力を得ていくのです。子どもたちが真っ白なきれいな歯で、思いきり笑えるように。その笑顔が見た

い。笑顔は無限の力です。

ひらやま えりこ  
(平山 恵理子)

青葉奨学会会員  
ホーチミン市在住  
NAOMI DENTAL CLINIC 医師

(編集者注) ベトナムの場合：ベトナムでの調査(2011年)によると、ベトナム人の90%以上が虫歯や歯に関する病気にかかっており、35~44歳では98%に達す

る。6~8歳の虫歯の割合は85%、1人当たり6.5本の虫歯がある。年齢とともに増えて、12歳以上は50%、18歳以上は60%、35歳以上は70%、45歳以上では90%を超え、1人当たり8.43本の虫歯がある。原因として、虫歯になりやすい精製糖を含んだ食品摂取量の増加、歯磨きなどの口腔(こうくう)衛生の習慣が普及していないこと、ベトナムの生活用水はフッ素濃度が低いこと、さらに、歯科医師は都市部に集中しており、農村部では歯科治療・予防が困難なことなどが挙げられている。

## 心からありがとうございました!

最初に、簡単に私の自己紹介させていただきます。私の名前はミンです。現在、ハノイのソフトウェア開発会社で開発者として働いています。私は2003年からベトナム子ども基金の奨学金で8年間支援していただきました。そして昨年6月、ハノイ工科大学を卒業しました。

最初奨学金をもらっていた頃、私はチュー・バン・アン高校の10年生(高校1年)でした。そのとき家族は、祖母、父、母と私の4人でした。奨学金は1,000円(=120,000ドン)でした。私がそれを母にあげると母は喜び、「よく勉強しなさい」と私に言いました。私もうれしかったです。でも本当は、高校生のお金はそのお金のどのくらい多いのか、あるいは少ないのか、あまり考えませ



ミン君と両親と姉の子どもたち

んでした。

2006年9月、私はハノイ工科大学に入学しました。IT学科で、HEDSPI(IT高等教育人材育成プログラム)に入りました。HEDSPIはベトナムと日本が協力したプログラムで、日本語の話せるIT技術者育成を目標としており、私はITも日本語も教えてもらいました。それで今私は日本語が少し使えます。

大学生になったとき、学費は自分で払いました。大学の学費は毎月180,000ドンで、奨学金で学費を払うことができました。私はハノイの実家に住んでいますから、生活費がまったくかからず、時々昼ごはんは家族と食べ、お金を使いませんでした。学生時代、農村や山村からハノイ市まで通学してくる友達もたくさんいました。家族と一緒に住んでいた私は、他の学生より生活が楽でした。

しかし、2010年に私の母は退職し、両親2人とも無職となりました。その後、私のおいても実家に住むようになり、にぎやかになりましたが、家庭の生活は苦しい状態(収入が100万ドンぐらい)になりました。2011年4月、私はソフト会社に就職して、社会人としての生活が始まりました。今でも家庭の生活は楽ではないですが、私も家計に貢

献できるようになりました。

私はこれからもこの会社で働いていきたいと思っています。社員のほとんどは、私のような若者ですから、コミュニケーションはうまくいっています。仕事は、携帯電話のアプリケーションを開発することで、面白いと思います。仕事を一生懸命頑張れば、よりよいものを開発できると思います。今の仕事は大学で勉強した知識がかなり役立ちますが、もっと会社で必要とする知識を習得しなければならぬと思っています。

今、私に必要とされているのは、大部分はプログラマーとしての能力です。将来の仕事のため、アプリケーションの分析とデザインの技能を勉強しています。

昨年11月に、子ども基金のスタディーツアーの里親の皆さんとの交流会に参加して、私はとてもうれしかったです。里親の皆さんはみな親切で、優しかったです。私は日



勤務先で

本語が少し話せるので、里親の皆さんと話ができて、楽しかったです。里親の皆さんは学生たちのことをよく考えてくれていて、子ども基金を支えている、優しい人たちだと思います。私も、そんな親切な人になりたいと思います。他人のことに興味を持ち、できれば援助をしてあげたいといつも考えています。そうすることによって、それは私が子ども基金からもらったプレゼントのお返しになると思います。

私は、子ども基金の奨学金を高校生と大学生のときに続けてもらいました。私は支援

していただいて本当に助かりました。心からありがとうございますと言いたいです！

ミン・ホアン・チュン  
(Minh Hoang Truong)  
元里子 ハノイ在住

### ミン君との交流

現在ミン君とは日本語でメールのやりとりをしています。彼は世界に知られているマンガや桜、歌舞伎、寿司、剣道など、独特な日本文化に興味があり、日本語を勉強したそうです。東日本大震災のときには、心配してすぐ連絡がありました。報道を通じて

被災に対応する日本人のあり方を見て、実際に見習うべきことがたくさんあり、厳しい状況に遭っていても人々は相変わらず労働にいそしみ感服しました、と書いてきました。

今年、IT関連会社の社員になりました。青葉奨学会に寄付をしたりもする、とても優しい、将来が楽しみな好青年です。これからも連絡を取り合っていきたいと思っています。

小河原 理枝  
里親として手紙で交流

## 子どもの勉強のため＝自分の生きがい

私は、ボランティアをしている皆さまに同行させていただいたおかげで、いろいろなところを見ることができました。孤児院や田舎の学校、盲学校などです。子どもたちは親がいなかったり、障害を持っていたり、さまざまな事情でその施設で勉強したり、暮らしたりしています。しかし、みんなが夢を持って、自立するために、頑張っていることに感動しました。

ホーチミン市から、南の海のほう、約136km離れたところはチャビン省です。中心地から海に向かって、30kmのところにある施設のひとつがあります。「愛のクラス」



改装前のクラス

というボランティア教室です。教室といっても、その先生のご自宅の中です。その先生はサウ先生という女性で独身です。この「愛のクラス」は1950年から開始されたそうです。当時はサウ先生の母親が教えていました。おかあさんが亡くなってからも、このクラスを続けてきました。学んでいるのは、貧しくてお金がない子どもたち、あるいは親がいない子どもたちですが、勉強する意欲は決して普通の子供たちには負けないと、先生はお考えです。どうしてやめないのですかと聞くと、「子どもたちがかわいそうなので、字を教えてあげていた母の意向を受け継ぎたい」という答えが返ってきました。

60年もたったので、このクラスは壁、ペンキも古くなってきました。机や椅子も今にも壊れそうです。天井もなく、ほこりが落ちてきている古いクラスです。その中で、一生懸命勉強する子どもたちの様子を見ると、涙が出るほ

ど胸が痛い、と、サウ先生が話してくれました。

運が良いことに、ちょうどベトナム子ども基金の黒羽さんと樋川さんが調査でベトナムへお越しになり、そのとき「愛のクラス」を訪ねていただきました。そして、この現状を見て、学校改修の話を出して、帰国後、日本の会員の方々に話していただきました。そして、皆さま方から10万円の寄付で、改修することになりました。改修しているとき、「愛のクラス」を卒業した元学生も手伝いにきました。

今は、きれいな教室になりました。サウ先生がうれしそうに、クラスの子供たちの



改装には卒業生もボランティアで参加

ことを話してくれました。きれいになった教室に入っていくと、子どもたちは「わあ、入って、入って」と大声を上げて、友達を呼びました。机から床に転ぶ心配もありません。「先生、扇風機をつけて、電気もつけて」などみんなわいわいと騒ぎました。そして、休憩の時間、床に寝転んで「わあ、涼しくて、いい気持ち」と言い合いました。その様子を見るたびにサウ先



新しい机で勉強中

ったな、ここで勉強できたらいいな」と言っていました。

「ご支援の皆さま、皆さまの温かい心で、私たちにご支援してくださって、本当にありがとうございました。子どもたちが楽しく、勉強できるきれいな教室で、私もうれしいです。もう年ですが、できるところまで、やり続けていきたいと思っています」と、サウ先生は話していました。

今はもう「愛のクラス」の改修が終わりま

したが、ボランテ

ィアをしている皆さまの温かい心、サウ先生が子どもたちに対する熱心さ、子どもたちの笑顔を感じて、本当に感動しました。「Xin cam on」、日本語で「ありがとうございました」を皆さまへ贈ります。

フアム・タン・シュン  
(Pham Thanh Xuan)

ベトナム青葉奨学会事務局



床に転がって遊ぶ子どもたち

生は心の底から、うれしい気持ちわいてくるそうです。元気になれるそうです。そして、このクラスをすでに卒業した子どもたちは、「残念だ



サウ先生と生徒たち

愛のクラス修理費 ベトナム チャビン省 コウ ガン郡		
1ドン=0.0037円		
項目	金額(ドン)	金額(円)
資材	6,500,000	24,050
窓格子	1,000,000	3,700
ドア塗装	371,000	1,373
学生用机・椅子 10セット	8,000,000	29,600
人件費	4,400,000	16,280
小計(1)	20,271,000	75,003
天井	2,013,000	7,448
教卓 1台	1,500,000	5,550
大型黒板 2枚	570,000	2,109
照明器具	594,000	2,198
人件費(元学生によるボランティア)	0	0
小計(2)	4,677,000	17,305
総計(1)+(2)	24,948,000	92,308

## ベトナムからの手紙

仕事に慣れたら、社会貢献をしたい  
グエン・ゴック・タイン

ご無沙汰しています。お元気でしょうか。ご家族の皆さまはお元気ですか。皆さまはお変わ

りないでしょうか。  
私は専門学校の最終学年を無事に終えました。卒業試験も良い成績を出すことができました。すごくうれしかったので、さっそく里親さまに知らせたかったです。卒業証明書が手元にあることが幸せでうれしい限りです。今、私は貿易会社で働いています。まだ試用中の身ですが、上司や先輩によくほめら

れています。これからも、より努力しより良い結果を出せるように頑張りたいと思っています。初任給は、250万ドンで3か月目から上がるそうです。給料の他、交通費や保険、手当などももらえます。高い給料ではありませんが、卒業したばかりの私には十分だと思います。会社でのことは、今までの学校生活と全然違うので分からな





いことばかりです。友達、家族の支えで、早めに新生活に慣れるように頑張ります。

現在のようになれたのは里親さまのおかげだと思います。心から感謝しています。いつも里親さまのおかげで今の私があるのだと思っています。やっと社員として働くことができ、経済的な面で親の負担も手伝いできて、なんだか自分が一人前になっている気がしました。これも里親さまが願っていたことだと思います。ご安心ください。まだ足りている生活だとはいえませんが、一生懸命頑張れば明るい将来が来ると思います。

今も母親はまだチェー（ベトナム風のデザート）を売っています。もうけ自体は少ないですが順調です。いつか母がお金のことを心配しなくてもよいように、私が仕事を頑張らないといけななと思っています。もうすぐその日が来るような気がします。

もっと良い給料をもらえるように、11月に通信大学に進学し英語の資格も取ろうと考えています。

学生時代、お手伝いさん、塾の先生、飲食店のスタッフなどいろいろアルバイトをしていました。それぞれのアルバイト先で、良い人に出会ったり、困っている人にも出会ったりしました。今思い返すと、良い勉強ができ、良い思い出ばかりで、うれしくて幸せに思います。これからは、ベトナムの発展にも頑張らないといけななと思っています。良いことをして、良い人生を送って、心の温かいベトナム社会に尽くしたいと思いません。ある程度仕事が安定してきたら、里親さまのようにボラン

ティアなどして社会貢献をしたいです。

今度は里親さまからの最後の奨学金になります。大事に使わせていただきます。

最後になりますが、再びに里親さまへの感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。いつまでもお元気でいらっしゃってください。時間があるときは手紙を書いてくださいね。いつか桜の国で里親さまと会えたらよいなと思っています。

### 一人暮らしで頑張っています

グエン・チャプ・ドゥン

里親さまとご家族の皆さまは元氣でお過ごしでしょうか？ 前回私が送った手紙は届きましたか？ この頃、勉強と家事が忙しくなって里親さまに手紙を書くことができませんでした。最近お仕事で忙しいでしょうか？ 里親さまから写真をいただいているからはまだ他の手紙ももらっていません。

この夏、節電計画のため里親さまは会社に週末出勤しましたか？ 私はテレビで日本についてそのようなニュースを見ました。

さて、姉の息子が病気で入院したので、私は一人で暮らすことになりました。毎朝早く起きて鶏たちに餌を食べさせてから登校準備をします。昼休み家に帰って昼ご飯を作ります。また鶏たちに食べさせて学校へ行きます（訳注：通常ベトナムの高校では、授業は午前と午後にあります。昼休みは午前11時半から午後1時頃までです）。学校が終わったら家へ帰って晩ご飯を作ったり、畑の野菜に水をやったり、洗濯したり、掃除した



りします。本当に忙しいです。一人暮らしの生活のつらさが分かかってきました。夜一人しかいないので暗い所を見ると、お化けのイメージが浮かんでとても怖いです。小さい頃、里親さまはお化けを怖いと感じましたか？

今年度私は奨学金をいただきました。奨学金を学費と姉の息子の治療のために使いたいと思います。里親さまからの奨学金のおかげで生活が改善されてきました。どうもありがとうございます。

前年度（高校1年生時）私は優の成績を収めてとてもうれしかったです。点数は具体的に数学が9.2で文学が8.4で英語が8.6でした（訳注：ベトナムは10点満点です。8点以上が優の成績と評価されます。8点以上を取るにはかなり難しいです）。今年度は勉強が難しいかもしれませんが、もっと努力して頑張りたいと思います。

最後になりましたが、里親さまのご健康とご成功をお祈りいたします。

### 奨学金は とても役に立っています

チャン・ティ・トゥ・フォン

私は長い間お姉さんに手紙を書きませんでした。この手紙はお姉さんの手に届くまでどれぐらい時間がかかるのでしょうか、またそのとき、お姉さんは驚くでしょうか。

日が沈んで暗くなってから私はちょっと教科書を閉じ、それからこの手紙を書き始めています。宿題がもう終わったわけではなく、問題が難しく、考えるのをひと時休んでいます。国

家試験の学校の代表になるための試験に参加するためです。先生の教えることは私には分からないことが多いので、家で自習しなければなりません。お姉さんに手紙を書き終えてから、また勉強を続けます。

この数日、私の住んでいるところは天気が変わりやすく、日差しが強いと思ったら、すぐ雨が降ってきます。激しく降っても、上がるのも早いです。うそみたいです。私は晴れより雨の方が好きです。涼しく感じて、それにじめじめした土の匂いも好きです。ただし、大雨なら、家が雨漏りしますので、掃除や雨漏りの後片付けをしなければなりません。それでも雨好きです。お姉さんはどちらの方が好きですか。日本には雪が降りますか。私は一度雪に触れてみたいですね。面白そうですね。

最近お仕事はどうですか、うまくいっているのでしょうか。お姉さんはベトナムの米で作ったお菓子を味わったことがありますか。日本のとはちょっと違うと思います。かなり甘いですがとてもおいしいです。

先日、私は青葉奨学金をもらいに行きました。1年間分なので、金額は187万2千ドンです。私は現在、国家試験の学校の代表になるための試験を勉強するため、買わなければならない参考書も多く、奨学金がとても役立っています。お姉さんには心から感謝しています。口先ではなく本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私は時々手紙を書きますが、たぶんお姉さんにありがとうと書くのが忘れていたと

思います。今言っても遅いかもしれませんが、どうぞ怒らないでください。

私はもうそろそろ眠くなってきました。宿題に戻ってから、寝ます。お姉さん、さようなら。お姉さんの返事を待ちます。

## 夢の実現まで頑張ります

グエン・ティ・カム・トゥ

里親さま、お元気でしょうか。ご家族の皆さまもお元気ですか。私と家族はみな元気です。里親さまのサポートをいただけるようになったときから、心が躍っています。それは、他のみんなと同じように学校に通えるからです。私の故郷はとてもよい所です。毎日、田んぼから、山にかかる夕焼けを見ることができて、とてもすてきです。里親さまの所には桜がありますが、桜はいかがですか。私も桜を見たいのですが、行けそうになくて、とても寂しいです。

私の勉強は進んでいます。今年は、成績の良くないものはありませんでした。里親さまや家族に喜んでいただきたくて、頑張りました。私はもう大きくなりましたが、今でもまだ人に褒められたいです。

私は、成長していく中で、親の言うことを聞くことを覚えました。私は良い子どもだと思いにりますか？ 夏が来て、鳳凰木（ほうおうぼく）の花が真っ赤に咲き乱れ、セミも競って鳴いて、そろそろ夏休みだと知らせてくれます。毎日、朝は家事をし、昼になると紙のお供

え物を作る仕事をしますから、少し忙しいです。夕方は勉強して、それからまた仕事をします。母は、仕事に行くととても大変なので、私はかわいそうに思います。母の苦労を見ていますから、母を少しでも助けたいです。夏休みに入ったら私は何をするか、里親さまはお分かりになりますか。お話ししますね。夏になったら紙のお供え物を作る仕事をしたり、補習に行ったりします。もっと勉強し、いつか日本へ行って、里親さまにお目にかかります。里親さまと奨学会の皆さま、始業式には、ぜひ、私や学校のみんなに会いにベトナムへいらしてください。

私の夢は、今も変わらず歌手か、教師か、医者になることです。頑張って、夢を実現させます。

里親さまにずっとお元気で、私のそばにいらしていただきたいです。そっと小さな声で言いますが、笑わないでください。私の字はとても汚いですが、叱らないでください。



(本文と写真とは関係ありません：編集部)

## ●事務局から

◆ご入金報告 ご支援ありがとうございます(順不同・敬称略) (「新」は新規会員)

2011年9月

2011年10月

2011年11月

2011年12月

2012年1月

春の木運動

\* お願い：通信送付の際の封筒宛名に、里親会員と一般会員になられている方には、会員番号と最終入金日が記入されています。年会費の納入をお忘れなきよう、お願いします。

◆ベトナム子ども基金会員募集！（友人・知人をお誘いください。ご協力をお願いします！）

里親基金：年額1口 20,000円 学生会員：年額1口 10,000円	特定の子どもに「里子」として奨学金を支給する「里親」になっていただきます。ベトナム青葉奨学会から、子どもと家族の状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができます。
一般基金：年額1口 12,000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。通信を通じて会の運営報告、子どもたちの様子などをお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数などいっさい自由です。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設します。該当学校に青葉奨学金を併設することも可能です。
個別黄梅基金：1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立し、預金利子を奨学金とします。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上決定します。
ベトナム黄梅基金：1口10,000円	複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立し、預金利子を奨学金とします。

ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。

口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ)：トクヒ)ベトナムコドモキキン

里親基金用(一般、賛助基金を含む)

郵便振替 00100-6-546799 銀行(みずほ銀行駒込支店)

普通1121865

黄梅基金用(個別寄付、学校建設を含む)

郵便振替 00130-4-552361 銀行(みずほ銀行駒込支店)

普通1121873



## ◆事務局だより

2012年最初の通信55号を最後までご覧いただきありがとうございます。昨年は、東日本大震災、原発事故という未曾有の大災害に直面し、ようやく復興の道のりを歩み始めたばかりですが、会員の皆さまには変わらず、多くのご支援を賜り心より感謝申し上げます。今年度も経済的に厳しい境遇の学生に奨学金を支給できるよう、引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。

今回通信をお届けするにあたり、新しいパンフレットを同封いたしました。NPO法人に移行し2年半が経過し、より多くの皆さまに、当基金の活動を知っていただき、支援の輪を広げるため、ボランティアスタッフの協力で約半年をかけて作成しました。デザインを一新し、当基金の活動についてより分かりやすい内容となっております。お知り合いの方にお配りいただける方、またどちらかに設置していただける方には、事務局よりパンフレットをお送りしますのでご連絡ください。事務局でも、今後参加する交流イベント等で配布をしていきます。

現在、事務局では皆さまに里子の履歴票を発送しております。履歴票にベトナムの地図、里子への手紙の書き方を添えてありますので、こちらもご参照ください。

昨年度、里子が高校3年生だった方には奨学金支給終了の手紙を送らせていただきます。青葉奨学会では原則、奨学金の支給を高校卒業までとしておりますが、青葉奨学会側が成績優秀で、素行が優れていると判断した場合、または、里子から手紙で大学進学により支給をお願いし、里親が継続を希望する場合に限り、大学進学後も引き続き奨学金を継続支給することができます。里子から皆さまへ、直接、奨学金継続の要望がある場合は、子ども基金事務局から青葉奨学会へ再支給の手続きを要請しますので、事務局までご連絡をお願いいたします。そのほか、ご不明な点がおありの際はご遠慮なく事務局までお問い合わせ、ご相談ください。

また、支給終了後も青葉奨学会を通じて手紙のやりとりを続けることができますので、皆さまのベトナムの子どもたちとの交流をぜひ続けていただきたいと思います。

手紙や通信の発送、運営会議、事務局運営などの活動はボランティアの方々によって支えられております。この場を借りて、昨年ご協力いただいた皆さまにお礼申し上げますとともに、新たにお手伝いいただける方を募集しております。当基金の活動にご興味をお持ちの皆さま、ぜひご参加ください。(坂本)



里子手紙翻訳会の様子  
ベトナム人と日本人でペアになって確かめ合いながら手紙の翻訳を行っています

## ◆Q & A

こちらでは、会員の方から寄せられたベトナムや里子に関する質問で、皆さまのお役に立つ情報を不定期に掲載していきます。回答に関しましては、ベトナム人留学生、事務局スタッフが対応しますので、学術的な説明ではなく、実情を踏まえての説明になりますことをご了承ください。

【ご質問】 ベトナムの里子は苗字と名前のどちらで呼べばいいですか。

【答】 ベトナム人の名前は姓名の順で並んでいます。少数民族の名前など例外はありますが、ベトナム人の名前の特徴は、ファミリーネーム(姓)、ミドルネーム、ファーストネーム(名)によって構成されています。

(例) PHAM(ファーストネーム) THANH(ミドルネーム) XUAN(スアン)

最初のブロックが苗字で、多くは父方の姓を名乗ります。一般的に、名前を呼ぶときは、最後のブロックのファミリーネーム(名前)のみを呼びます。

例えば、青葉奨学会事務局のPHAM THANH XUANさん(ファム・タン・スアンさん)のことは、XUANさん(スアンさん)と呼びます。手紙を書かれるときや、里子に面会される機会がありましたら、下の名前で呼びかけてください。

(注) "Xuan"の発音が、今号でも「スアン」となったり、「シュン」となったりしていますが、ベトナム語に近い発音は「スアン」です。"Xuan"は「春」という意味があるので、「シュン」と呼んでいます。また、"THANH XUAN"で「青春」です。